



いつ造るの？

令和4年度5月の施設オープンを目指します。施設整備及び運営については、公民連携（PPP）の手法としてDBO方式を採用します。民間事業者と連携することで、専門的なノウハウとアイデアを最大限に活用した施設整備と開業後の施設運営を行います。

2020 (R2)

基本設計

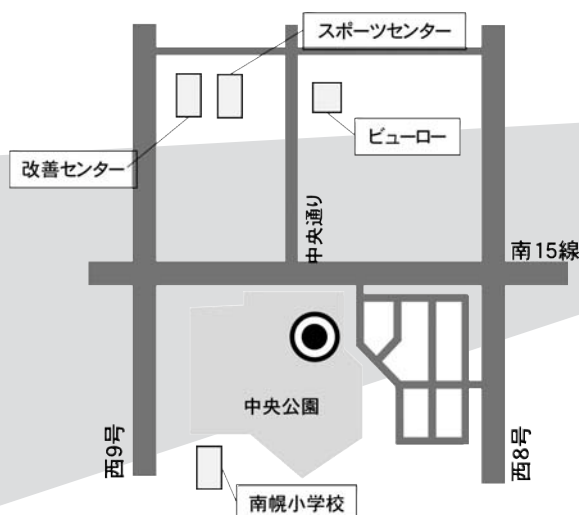
シンポジウムや
ワークショップを
複数回開催

2021 (R3)

実施設計
建設工事

2022 (R4)

オープン



どこに造るの？

中央公園内の多目的広場（土のグラウンド）に整備します。公園との連動を意識し、施設内、屋外（公園）を活用した賑わい創りに取り組みます。また、駐車場の増設も予定しています。

どうやって造るの？

上記のとおり、本事業は施設の設計（Design）・建設（Build）・維持管理運営（Operate）・エリアマネジメントの各業務を一括して事業契約するDBO方式を採用しています。事業者の選定にあたっては、公募型のプロポーザルを実施し、3事業グループからの企画提案を受け、下記の企業グループの提案が採用されました。自治体だけではなく、町民や民間事業者と連携しパートナーシップを結ぶことで、魅力的で賑わいのあるエリアを目指します。

●構成企業

	業務の役割	企業名	主な実績等
1	代表事業者	大和リース(株)	道の駅サーモンパーク千歳、BRANCH札幌月寒
2	設計業務(建築)	(株)創建社	北海道大学医学部百年記念館、南幌町民プール
3	設計業務(外構)	高野ランドスケーププランニング(株)	滝野すずらん公園子どもの谷、十勝エコロジーパーク
4	建設業務	(株)玉川組	恵庭市「えにあす」、長沼町児童館(子育てセンター)
5	維持管理業務	イオンディライト(株)	北海道立総合博物館・開拓の村、イオンモール
6	運営業務	(株)オカモト	よつばアリーナ十勝、フィットネスクラブJOYFIT
7	エリアマネジメント業務	(株)グローバルデザイン	網走市「まちづくり会社推進協議会支援事業」

●協力企業 ※以下2社が協力する遊戯施設は全国初

	遊具設計・商品	(株)ポーネルド	3万5千件以上の施設(幼稚園・学校・公共施設・商業施設等)を手掛ける遊び場づくりのプロフェッショナル
	木育遊具	東京おもちゃ美術館	木育を通じた多世代交流を図る遊びのミュージアム

目指すのは 人とまち、公園を育てる 交流拠点



2022年のオープンを目指し、昨年度から構想をスタートした誘客交流拠点施設。子どもたちがいつでも安心して遊べる場、地域の住民が気軽に利用できる憩いの場、町内外からたくさんの人が訪れる賑わいの場を創出するため、地方創生の取組みとして魅力あふれる施設整備を進めます。

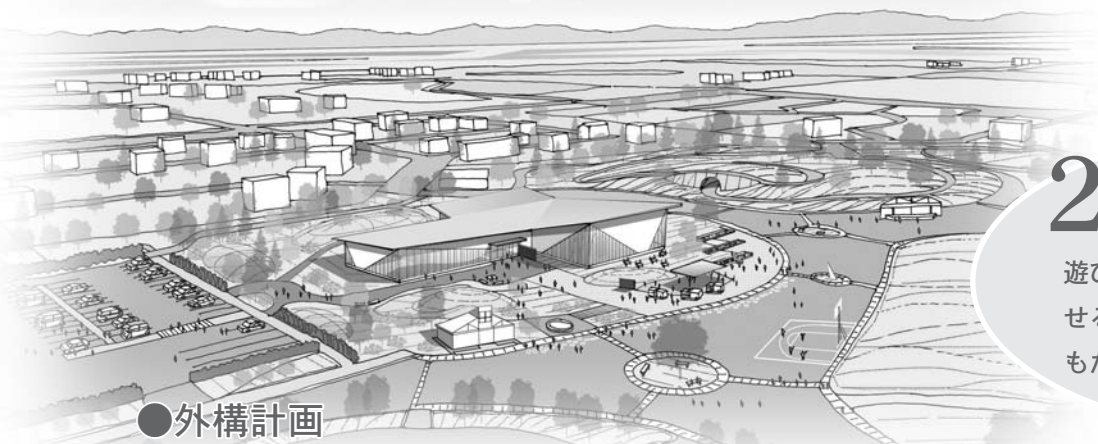
【施設概要】

- ・構造形式 木造平屋建て(道産カラマツ集成材使用)
- ・建築面積 約1,200㎡ ※うち遊戯エリア(屋内)は約740㎡
- ・その他 施設の周囲には、花壇や小屋根、ビザ釜等を設置し、屋外イベントに使えるコミュニティガーデン、町民とともに森を育てるエリア、DIY広場、芝生広場、バスケットコートを設置。中央公園の自然と調和したランドスケープを創出。



▲詳細情報は町ホームページへ

問合せ：まちづくり課企画情報G



2 アクティブエリア

遊びを通じて、運動能力の発達を促せるエリア。跳ぶ・登るなど、子どもたちの様々な動きを引き出します。

●外構計画

(四季を通じて笑顔の集まるランドスケープを創出)

施設の周辺、緑あふれる屋外の空間は訪れる人にとって憩いの場となります。コミュニティガーデンやワークショップスペースのほか、いつでも使えるピザ窯の設置も予定しています。

- ・集いゾーン
- ・散策ゾーン
- ・スポーツゾーン
- ・遊びゾーン



3 ファミリーエリア

子どもから大人まで一緒に暖炉を囲むような、コミュニケーションが生まれる空間。木製の家具や遊具は木の温かみを全身で感じられ、子どもたちの感受性を刺激します。

●エリアマネジメント計画

エリアマネジメントとは、エリアの新たな価値を創出するために、地域住民や地域の団体・町・民間事業者が主体となって、まちづくりや地域経営を積極的に行う取り組みを指します。本施設は、地域の魅力について町民とともに考え、賑わいづくりを進めるための「エリアマネジメントの拠点施設」として位置付けます。

町民参加型のシンポジウム・ワークショップを開催します

10月18日(日)に開催するシンポジウムを皮切りに、今年度は町民参加型のワークショップを2回、小学生を対象とした子どもワークショップを1回予定しています。詳しくは、**本誌に折り込まれたチラシ**をご確認ください。どんな施設にしたいか、どのような活用方法があり、どうしたら実践できるか。日々の暮らしを豊かにするための取組を、町民の皆さんと考えていきます。



4 パークエリア

築山やトンネル、滑り台、シンボル遊具が印象的なエリア。公園と連続性をもった空間は、屋内に居ながらも屋外の雰囲気を感じられます。



●遊戯エリアの計画

テーマは、「遊び」と「運動」。乳幼児から小学校高学年までの子どもたちが、楽しくのびのびと遊べる施設を整備します。まちの大きなリビングスペースとして、家族のコミュニケーションの時間を育みます。



1 ベビーエリア

親子で一緒に楽しむエリア。乳幼児期の成長に必要な遊び機能を揃え、安全に過ごせる環境にします。

賑わいと笑顔あふれる 拠点づくりへ

キーワードは“笑顔”。『30年後も子どもたちと“笑顔”でいる風景』を思い抱きながら、全ての町民が活躍し、喜びと幸せを育む拠点づくりを進めます。ここでは、今回選定された企業グループによる提案内容をご紹介します。

※あくまでも、プロポーザル企画提案段階の内容であり、今後行う町民とのワークショップ等での意見を踏まえながら、事業を進めていきます。

遊戯エリア

●多目的エリアの計画

皆の「居場所」となるようなエリア。居心地の良い空間を演出することで、多世代での交流や賑わいを生みます。また、窓際には公園を眺められるカウンターやイスを配置するなど、多彩な使われ方を想定した空間づくりを目指します。

- ・フリースペース
- ・小上がり空間
- ・多目的ホール



多目的エリア

想い描く未来のまちの姿、
そこには今と変わらず、子どもたちの笑顔が――。

朝の日差しが心地よい、夏休みのある一日の始まり。

施設のオープンを待ちきれない子どもたちが、中央公園の遊具で遊んでいます。
犬の散歩で訪れる人たちは互いに挨拶を交わし

パークゴルフ場では、早くもプレーに汗を流す方々がいます。

オープンとともに「待つてました！」と、なだれ込む子どもたち。

その傍らには、我が子を見守りながら情報交換する母親らの姿も。

フリースペースでは囲碁を打つご年配の方々と、それを興味津々に見つめる地域の子。
窓際のカウンターでは、パークゴルフを終えた方々がお茶をしています。

さて、昼食の時間。

地域のママ友が集まり、屋外のピザ釜を借りてランチのようです。

この時間は町外からの客も増え、芝生にお弁当を広げる親子の姿も日常風景です。

今日はキッチンカーも来てくれました。

クレープ、タピオカ、そしてソフトクリーム。

朝採れ野菜を並べた直売コーナーでは、早々に完売してしまいました。

施設内で行われている出張パン屋さんの様子はどうでしょう。

どうやらこちらでは、キャベツキムチパンの売れ行きが好調のようです。

子どもたちの笑い声とエリア全体の賑わいは、このまま夕方頃まで続いています。

夜になると施設を消灯。

公園の外灯も落とし、今日は星空観察会が開かれます。

「南の空を見て！空が広い南幌町では、さそり座のしっぽまで見えるんですよ。」
星空案内人の言葉に、子どもたちの目が輝きます。

都会の傍に位置しながら、息を呑むような自然が広がるのが
私たちのまち『南幌町』。

町外から訪れた方々は、ここでまちの魅力を感じ

この特別な日の思い出を忘れることなく持ち帰ることでしょう。

ゆつたりと流れる、穏やかな時間。

こんな美しい日が、南幌町の子どもたちにとっての、日常であれたら――。

暮らしを豊かにする、魅力あふれる交流拠点が
近い将来、産声をあげようとしています。



目指すのは人とまち、公園を育てる交流拠点
誘客交流拠点施設 事業者決定！

特集